

現状・問題	理想像	要因・背景 A-2
<p>ポータル・メール問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生・教員に情報を共有しにくい。 <p>事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金関係 ・成績不振者面談 ・就職関連情報 ・教員とのやりとり(特に非構的) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>確実な情報伝達</u>により、本来の業務に専念することが可能。 ・ ポータルサイトに代わるツールの利用(アプリ、SNS) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポータルサイトが使いにくい ・ スマートフォンの普及、PCを持っていない。 ・ 社会の変化
<p>教職員間の情報共有不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部署間の情報共有が十分でない。 <p>事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HP更新などの情報不足 ・ 成績・就職面談等に情報を活用しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部門の学生対応の際の情報を一元化することにより、各部門での面談が円滑に ・ リアルタイムな情報共有をすることにより、魅力発信が素早くできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報提供先が分からない ・ 情報の重要性への意識の差 ・ 部門ごとに、必要な情報が違い、個々に必要な情報だけを別々に管理している。
<p>教職員のICTスキル問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使える人、使えない人のスキル格差が生じている。 <p>事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使える人の仕事が増える ・ 新システム導入時、格差がより出てしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全教職員が、業務に必要なICTを使いこなせるようになり、そのシステムを利用する意義や活用方法を理解できるようになる。 → できる人に仕事が集中するのを防ぎ、問い合わせ等の無駄な時間を減らすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マニュアルの共有がしこりにできていない。 ・ 知識の修得を諦め、できる人に頼っている人の多い ・ 業務の中で、不明点が出てきた時に相談しにくい

問題

学生に情報伝達を
確実に行えていない!

◎重要な連絡の見落としがある。

↓
学生からの応答がなく、事務手続きが
進まないことが問題

ロゴマークの間違った使い方を
されてしまった。

その要因

①ポータルサイトが使いにくい

②ポータルサイトに入りにくい

③社会の変化に対応できていない

スマートフォン普及、PCを
持ち歩かない。
アプリが当たり前、

LINE

に依存

私とあなたのICT



課題

~改善するために
必要なこと~

1. 学生への意識づけ
2. システム面の改善・活用
3. 伝達方法の見直し

実施施策

1-① ICT利用ガイダンスを行う(4月)

② 学生チューターをつける。

ガイダンスにもサポート役として入る

③ 入学段階での指導を徹底する。

④ アンケート調査 { 使用状況
不満点
希望 等

反映 ↓

2-① 見やすいレイアウト(文字量、文章表現)

② 情報の内容の精査。

③ 重要度の確認

④ 既読の確認

3. アプリ、SNS、メール(使い分け)

実現

※ 情報伝達の精度の向上!!

学生一人ひとりに、ICTの活用意義と方法を丁寧に指導することで、ICT活用を意識付ける。

↓
アンケート調査を行う

↓
それをもとに、レイアウトの調整
内容の精査をする。

↓ **最終手段として...**

機能的な部分の改善をする!

実現するために...
私達はまず、

ICTを道具として使い人の

意識付けや、使い手の技能の向上を図ります。

その上で、ICTシステムの改善や導入の必要性が生じれば、段階的に実施していきます!